地熱発電事業に係る自然環境影響検討会

<これまでの検討状況>

平成22年 規制・制度改革に係る対処方針について閣議決定 抜粋

6月18日 過去の通知を見直し、傾斜掘削について、個別に判断する際の考え方を明確にするとともに、国立公園等の地表部に影響のない方法による事業

計画であれば許可できる旨新たに通知する。 平成 23 年度措置

平成23年 第1回検討会

6月28日 地熱発電事業に伴う自然環境への影響について

8月17日 第2回検討会

地熱発電事業に伴う自然環境への影響について

10月3日 第3回検討会

地熱発電事業の事業特性と環境への影響軽減技術の進展について

11 月 1 日 エネルギー・環境会議

政府のエネルギー規制・制度改革アクションプラン 抜粋

過去の通知を廃止し、傾斜掘削による自然公園の地下開発であれば許可可能である旨通知するとともに、自然公園の区分や開発段階ごとに、許可が可能となる要件や方法を検討し、明確化する。併せて、具体的な案件を対象に関係者の合意形成・連携促進のための優良事例の形成を図る。

11月8日 第4回検討会

地熱発電事業の行為内容と環境への影響軽減技術について

平成24年 第5回検討会(最終)

2月14日 通知見直しに向けた基本的考え方のとりまとめ

2月24日 自然保護団体、温泉事業者等からの意見聴取

< 今後の予定 >

3月末 検討会報告及び意見聴取等を踏まえ、国立・国定公園内における地熱 発電事業の取扱についての新通知を発出